

地域密着型通所介護光和堂 第6回運営推進会議

日時 令和3年9月29日(水)
場所 光和堂通所介護 事務室
参加者 別所寿亀クラブ老人会会長 **A様**
別所地区民生委員 **B様**
地域包括支援センター三恵苑 **C様**

光和堂代表 堀口
光和堂生活相談員 横山

コロナ禍の為に、横山が電話にて地域包括支援センター三恵苑のケアマネージャーC様と別所地区民生委員のB様、また別所寿亀クラブ老人会会長A様に、高齢者の家庭環境及び状況の現状把握と問題点をお聞きして、光和堂の活動をお伝えすると共に、今後の課題の為に意見交換を実施した。

1 活動状況の報告 横山

機能訓練の意義や目的、コロナ禍における運動の必要性をお伝えした。

コロナ禍で通所を控えている方や、骨折などにより参加できない方への新たな取り組みとして、ユーチューブ動画配信による自宅での機能訓練のサービスを令和2年9月から実施して、必要に応じて継続していることをお伝えした。令和3年度以降は、緊急事態宣言下においても、通所の重要性とコロナ感染対策管理が継続されていることをご説明して、光和堂のご利用者様は、ほとんどお休みなく通常通り参加頂いており、IADLの向上を目指している現況を報告した。また、今回老人会会長様と民生委員様、支援センター様と対話させて頂き、コロナ禍におけるご苦勞を再認識することができたので、今後もできる限り地域の連携に協力していきたいと思った。

2 ご要望・ご助言等の聴取

A様・・・コロナ感染対策の為に、老人会の催しは全て中止している。指扇地区で活動している他の老人会と、常に連絡取り連携している。また、電話にて老人会に所属している、独居高齢者の現状把握ができるように活動している。老人会の活動であった夜間パトロールも中止している為に、一ヶ月に一度回覧を回している。今回の緊急事態宣言が解けたら、徐々に老人会の催しを再開したいと考えているので、光和堂にも協力してほしい。今後は地域密着型の通所介護や民生委員と問題点を共有化し、不活性化の解決策を見出していきたい。

B 様・・・実際に問題なのは、通所介護などを利用できずに自宅に引きこもりになっている、独居の高齢者が増えてきたことである。コロナ禍の為に外に出る機会を提供することもできない。また、老々介護の世帯も多い上、最近では老朽化したアパートに生活保護の方が引っ越されてくることが多く、その方々との連絡をとることが困難であるなど多くの問題に直面している。そのような事情から安否確認など生活の現状を把握しづらい状況にある。特に問題の起こりそうな自宅には、夜、電気がついているか、朝、雨戸は空いているか、郵便物が溢れていないかなどを確認している。真夏は「熱中症対策」の要点をまとめて、ポスティングしてきた。できる限りの地道な活動であるが、お礼の電話をかけてくれる方もいて、活動の重要性を再確認している。光和堂は少人数制だからこそそのケアを行ってくれるようなので、通所介護の参加を促す為にも、頼みの綱としていきたい。

C 様・・・光和堂は自立度の高い方に向けた運動の提供をしてくれる為、通所に抵抗があるが、通所の必要な方への声掛けがしやすい。地域の方が気軽に通える場所であってほしい。また、身体状況や生活状況を細かく聞き出し、包括に伝えてくれるので、転倒や心身の低下などの危険因子を早めに把握できるのでありがたい。今後もお願いしたい。

3 まとめ

堀口・・・コロナ感染が続き、今年も多くのイベントが中止され、高齢者の外出機会や趣味活動などが制限され、心身ともに機能を低下させている方が多く見受けられます。地域の皆様やケアマネージャーさん、さらに弊社スタッフの協力により、休むことなく通所介護を営業できており、皆様方に深く感謝申し上げます。今後も様々な制約が続く中で、高齢者の社会参加や交流に協力して、高齢者の孤立を防げるようにお手伝いしていきたい。